

2023 年度第 1 四半期業績発表

2023 年 5 月 12 日

## 景気低迷による厳しい第 1 四半期

- ・ 調整後 EBITDA は 44%減の 4.09 億ユーロ
- ・ 2023 年度業績予想は予想範囲の下限で確定
- ・ リュルスドルフの拠点の売却に成功

本件に関するお問合せ  
エボニック ジャパン(株)  
コミュニケーションズ  
TEL 03-5323-7353  
FAX 03-5323-7399  
E-mail: [info-jp@evonik.com](mailto:info-jp@evonik.com)

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)は、困難な中での第 1 四半期に、2023 年度の業績予想を確定しました。取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「今年度は予想をさらに上回る厳しいスタートとなりましたが、第 1 四半期中に業績回復の兆しが見えてきました。営業利益については、2 月、3 月ともに前月を上回りました」と述べています。

第 1 四半期は、経済活動の停滞と需要の低迷に見舞われ、特に新年度の最初の数週間は、顧客の在庫調整が続きました。全体としては、売上高は前年同期比 11%減の 40 億ユーロとなり、販売数量は 14%減少しました。価格上昇により、販売数量減少の一部は相殺され、インフレの影響も抑えることができました。調整後 EBITDA(支払利息・税金・減価償却費控除前利益)は前年同期比 44%減の 4.09 億ユーロとなりました。

営業損益は低調だったものの、フリーキャッシュフローは 0.21 億ユーロに達しました。4 月 1 日に最高財務責任者(CFO)に就任したマイケ・シュー(Maike Schuh)は、「今年度のフリーキャッシュフロー目標を達成するには、さらなる努力が必要です。運転資本と投資の扱いについては、より一層、規律に従わなくてはなりません。今、全員が力を合わせ、この厳しい環境に耐えられることを示さなければなりません」と述べています。

通期では、調整後 EBITDA は予想範囲の下限である 21 億ユーロから 24 億ユーロ程度になると予想しています。その主な理由としては、動物飼料用添加物であるメチオニンと C4 製品の価格下落が挙げられます。

エボニックは現在の難局に屈することなく、発表したポートフォリオの調整を押し進めています。パフォーマンスマテリアルズ部門における売却の第一弾として、ドイツ・ケルンの南に位置するリュルスドルフの拠点を売却しました。高吸水性樹脂事業の売却は現在進行中で、3 月に投資勧誘を行い、計画どおりに進捗しています。

エボニック ジャパン 株式会社  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F

[www.evonik.jp](http://www.evonik.jp)

また、社外コンサルタントの削減、出張の削減、人材採用の抑制などのコスト調整策も実を結んでいます。しかし、目標としている 2.5 億ユーロ削減の大部分が達成されるのは、今年度後半になる見込みです。

一方、サステナビリティ戦略の実行は加速しています。3 月、米国で世界規模の医薬用脂質製造施設の建設に着手し、ドイツ・ハナウでは、臨床開発に必要な量の脂質を製造する施設を開設しました。また 2 月には、オーストリアでガス分離膜の新工場を稼働させました。

### 事業部門ごとの業績

**スペシャルティアディティブス:** 販売数量の減少により、売上高は前年同期比 12%減の 9.21 億ユーロとなりました。また原材料およびエネルギーコストの高騰は、価格転嫁で対応しました。建設・コーティング業界向け製品は大幅な減収となりました。ポリウレタンフォームおよび耐久消費財向け添加剤も、主に販売数量の減少により減収となりました。自動車産業向け添加剤は、販売数量の減少が販売価格の上昇により相殺され、安定した売上高となりました。調整後 EBITDA は、対前年度で 33%減の 1.68 億ユーロとなりました。第 1 四半期の調整後 EBITDA マージンは、前年同期の 24.0%から 18.2%に減少しました。

**ニュートリション&ケア:** 販売数量の大幅な減少により、売上高は前年同期比 15%減の 8.86 億ユーロとなりました。アニマルニュートリション部では、アミノ酸事業の競争力と収益性の向上に向けて、オペレーティング・モデルの調整に取り組んでいます。メチオニン価格が継続的に下落していることから、この施策の実施は喫緊の課題となっています。本事業の売上は大幅に減少しました。一方、ヘルスケア業界向けの製品は、販売数量が減少したものの販売価格が上昇したため、前年度比ではわずかな減収にとどまりました。調整後 EBITDA は前年同期比 66%減の 0.76 億ユーロとなりました。調整後 EBITDA マージンは、2022 年度第 1 四半期の 21.4%から 8.6%に低下しました。

**スマートマテリアルズ:** 売上高は、販売数量の減少により、前年同期比 7%減の 11.88 億ユーロとなりました。原材料費の高騰を価格に転嫁したことにより、販売価格は上昇しました。無機製品は、需要減退により大幅な減収となりました。販売価格の上昇は、変動費の上昇を反映しています。ドイツのマールに高機能ポリマー PA12 の設備を新設し、市場の強い需要に応えました。調整後 EBITDA は、主に販売数量の減少と原材料費の高騰により、前年同期比 23%減の 1.64 億ユーロとなりました。調整後 EBITDA マージンは、前年同期の 16.5%から 13.8%に低下しました。

**パフォーマンスマテリアルズ:** 売上高は販売数量と価格の減少により、前年同期比 16%減の 7.07 億ユーロとなりました。C4 製品は、需要の減退と価格の下落により、売上高が大幅に減少しました。高吸水性樹脂の売上高は、販売価格の改善により増加しました。調整後 EBITDA は、主に販売数量の減少により、前年同期比 55%減の 0.37 億ユーロとなりました。調整後 EBITDA マージンは、前年同期の 9.7%から 5.2%に低下しました。

#### エボニックグループ: 損益計算書(抜粋)

(単位: 100 万ユーロ)	第1四半期		
	2022	2023	増減(%)
売上高	4,498	4,005	-11
調整後 EBITDA	735	409	-44
調整後 EBIT	472	130	-72
調整	-16	-47	
純金融費用	-12	-14	
税引前利益(継続事業)	444	69	-84
法人税等	-126	-20	
税引後利益(継続事業)	318	49	-85
税引後利益(非継続事業)	-	-	
税引後利益	318	49	-85
非支配持分	4	2	
当期純利益	314	47	-85
調整後当期純利益	356	115	-68

#### 各事業部門の業績(第1四半期)

(単位: 100 万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2022	2023	増減(%)	2022	2023	増減(%)
スペシャルティアダティブス	1,049	921	-12	252	168	-33
ニュートリション&ケア	1,038	886	-15	222	76	-66
スマートマテリアルズ	1,284	1,188	-7	212	164	-23
パフォーマンスマテリアルズ	844	707	-16	82	37	-55
テクノロジー&インフラストラクチャー	271	292	8	35	34	-3
その他事業	12	11	-8	-68	-70	-3
<b>グループ全体</b>	<b>4,498</b>	<b>4,005</b>	<b>-11</b>	<b>735</b>	<b>409</b>	<b>-44</b>

\*前年度数値を修正

**エボニックグループの事業部門別従業員数**

	2022年12月 31日	2023年3月 31日
スペシャルティケミカル	3,824	3,556
ニュートリション&ケア	5,690	5,745
スマートマテリアルズ	8,011	8,095
パフォーマンスマテリアルズ	1,951	2,240
テクノロジー&インフラストラクチャー	8,367	8,041
その他事業	6,186	6,241
<b>グループ全体</b>	<b>34,029</b>	<b>33,918</b>

\* 前年度数値を修正

**エボニック インダストリーズについて**

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2022年度は、185億ユーロの売上、24.9億ユーロの営業利益（調整後EBITDA）を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、34,000人以上の社員が働いています。

**アジア・パシフィック・リージョンについて**

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2022年度は、37.8億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,200人以上の社員が働いています。

**免責事項**

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2023年5月9日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)